



ごとう整骨院News

<http://www.goto-hand.com/>

当院キャラクター「ほねボーヤ」

Vol, 34 9月号

千羽鶴を作りませ んか？

最近マスコミでは報道されなくなってきたので、もう大丈夫だと思っていられる方もいるかもしれませんが、東日本大震災の被災地はまだまだ復興していません。

去年とは違い、物資などは届いているので生活は出来ているようですが、今までの「近所さんや学校の友達と離れ離れになっしまったらして、仮設住宅での孤独死や痴呆の問題なども出ているようです。また、子供たちが暴力的になってくるこの報告も耳にしました。

7月、福島県いわき市に行きお話をさせてもらった中でとても印象に残っているのは「忘れられてしまつのが一番怖い」と話された方がいました。

「もう大丈夫なんじゃないか？」「もう支援は必

要ないでしょう？」などの声も出ているようですが、物質的な支援は確かに十分かもしれませんが、精神的な支援がこれから必要だと思つています。

去年参加させていただいたサンタクロースボランティアの今年目標は「心の復興」ということを目指して活動しています。

では、具体的にどうするか？

「みんな被災地の事を忘れていないよー」「応援しているよー」との気持ちを形にするために千羽鶴を贈ろうとしている学生と知り合いました。

鈴木悠司君という京都の大学生です。

「鶴のひつじ声」という活動を行っています。
(詳しくは検索してください！)

以下引用、
活動目的『世界の人達に

今一度、東北被災地に目を向けてもらう』

現状として被災地の復興は進んでおらず、雇用問題や高齢者の孤独死、また長期にわたる避難生活などで地域コミュニティが失われつつあります。

今一度、人々に被災地へ目を向けてもらい、国内外を通じて10万人の人間が「平和」への祈りを込め、折り鶴を通じて心一つにする。

贈呈先 被害の大きかった
100 地方自治体 (内
陸部 / 50 件、臨海部
/ 50 件)
100 自治体 × 1000
羽 = 100 万羽

今まで何か被災地にしたくてもできなかったひと…
そのチカラを折り鶴に込めて被災地まで飛ばしませんか？

世界、日本のみんなが東北被災地を素敵なxmasにしませんか??

僕たちがその想いを世界から集め届けてきます。
みんなのチカラで10万羽をxmas 東北に届けよう。

京都市南区吉祥院清水町
32-2 リバティハウス
京都 803
代表者：鈴木悠司
引用終わり

一人一人の力は小さいかもしれませんが、協力することによって皆さんの鶴が集まり人々が絆を感じられたら良いなと思つています。

ごとう整骨院の受付に折り紙をご用意してありますので、是非ともご協力下さい。

また、学校やサークルなどの集まりでもどんな声をかけていただいて、たくさんの千羽鶴を贈り、東日本復興のために日本を始めとして世界の人々が参加してくれることを切に願います。
(院長 後藤 健司)